

北条新聞について

北条新聞は北条住民と
地域情報を共有する目的
で北条街づくり振興会青
年部会が発行する新聞で
す。北条住民により北条
を知ってもらい、北条ラ
イフを楽しんでもらうた
めの情報提供をしていき
たいと思います。

この新聞発行は、みん
なの登校日メンバーや北
条に関わりのある人にお
願いをして記事を書いて
いただいています。みな
さまからの「こんなこと
知りたいよ」も募集中！



みんなの
登校日。
HOJO IN TSUKUBA

ご挨拶

北条にお住いのみなさま、こんにちは。北条街
づくり振興会青年部会（みんなの登校日）の部会
長を務めます矢島祐介（よしや写真館）と申します。
「青年部会とかみんなの登校日とか回覧板で色々な
ものが回ってくるけどなんなの？」と疑問をもた
れている方も多いと思いますので団体の説明をさ
せていただきたいと思います。

私たちは2017年から月に一回の
ペースでカフェポستنに集まり、ま
ちづくりや廃校活用についての話し合
いを行っています（通称ポستنミーティ
ング）。当初のメンバーは北条街づくり
振興会に所属する30〜50代のメン
バーを中心に、筑波山麓で生活や仕事
をしているメンバー5、6人でしたが、
現在では大学生を含む30名ほどと連
絡を取り合いながら活動をしています。

2017年11月には北条街づくり

活動内容

社長の橋永は青年部会が2月に
開催した北条大会議への参加を機
に、青年部会に参加するようになっ
た。新型コロナウイルスの影響で人手不足
となった秀峰筑波の学童でアルパ
イトをするなど大学周辺と北条を
行き来しながら北条に関わるよう
になり、8月には北条へ移住。今後
北条で暮らしながらプロの大会に
指導を受けながら、みずから床張
りや、壁を補修するなどDIYで店
づくりをおこない、来年2月末の
プレオープンをめざしている。

新しい交流拠点

「Iriai tempo（イライテンポ）」

みんなの登校日メンバーが地域
のたまり場と、様々な人が交流し
活躍する場を提供することを目的
とした「合同会社 Iriai tempo（イ
ライテンポ）」を設立。
新町にある築100年ほどの古
民家を借り、たまり場・地域物産
品販売・ワーキングスペースとし
て活用する。運営資金を
作るため応募したつくば
市主催「つくば28地域
活性化プランコンペティ
ション2020」【最終
審査会8月22日】では
見事、稼げる地域づくり
創生コース（賞金200
万円）に採択された。

名士の家であったことから歴史や
教育関連の書籍、古写真、着物や
草履など文化的教養を感じさせる
品が多かった。
草刈りによって地面の見えな
かった庭が、すっきりと見える
よりにきれいになり、本来の庭の
姿がわかるようになった。

10月15日には北条
街づくり振興会員や筑波
大生など25名が集ま
り、家財道具の片付けや
減築をおこなうワーク
ショップを開催。
活用される古民家は旧
筑波町の教育長を務めた



つくばスローマーケット



北条大会議



ポستنミーティング

振興会と相談しながら工芸作家のアトリエやギャ
ラリー、ネット販売を中心とした店舗、カルチャー
スクールなどを常設している施設としての活用案
をまとめ、要望書をつくば市に提出しました。2
018年には五十嵐市長にポستنミーティング
に来ていただき、上記案に地域開放するコミュニ
ティスペースを付け加えた
案をプレゼンし、意見を伺
いました。五十嵐市長から
は「地域の合意を得られる
のであれば市として協力で
きることはしたい」との返
答をいただくことができました。

2018年には筑波東中
学校へ「つくばスローマー
ケット」を誘致する企画を
し、つくばスローマーケッ
ト実行委員会さんと北条街
づくり振興会にお願いをし、
つくば市や筑波地区区長さ
ら

ん方へ説明会を行い2019年5月に開催するこ
とができました。そのときに「みんなの登校日」
という廃校利用プロジェクトの名前をつけ団体名
としました。その後、つくば市による「周辺市街
地活性化チャレンジ補助金（年度50万円）」制度
がはじまり、補助金対象として協議会を設立する
必要がありましたが、北条には北条街づくり振興
会があったため、振興会を補助金対象団体とし、
みんなの登校日を青年部会として振興会内に組織
して、チャレンジ補助金事業を行うことになりま
した。

2019年度に補助金事業として行ったのが、
1月の北条アンケート、2月の北条大会議、そし
て3月の桜ピクニックでしたが、桜ピクニックは
新型コロナウイルスの影響で中止になってしま
いました。その代わりにみんなの登校日のロゴ制作
と北条3D動画、まくら編の作成をいたしました。
2020年度は新型コロナウイルスの影響でイ
ベントをおこなうことができないため、地域内外
へ情報を伝えることをメインに事業をおこないま
す。

矢中の杜を、

ご存知ですか？

NPO法人
矢中の杜の守り人
事務局長 中村泰子



矢中の杜を、ご存知ですか？
そうです、旧北条小学校への
道の右手にあるあの場所です。
かつては「矢中御殿」と呼ば
れた昭和時代の豪華な邸宅。そ
の邸宅を再生し、活用しながら
保存しています。

図のもと造られた、格式と豪華
さがあり、加えて独特の材料や
建築的工夫を取り入れた邸宅な
のです。特に、全館の換気の工
夫は、40年近く使われなかつ
た邸宅を、今も静かに守って
います。

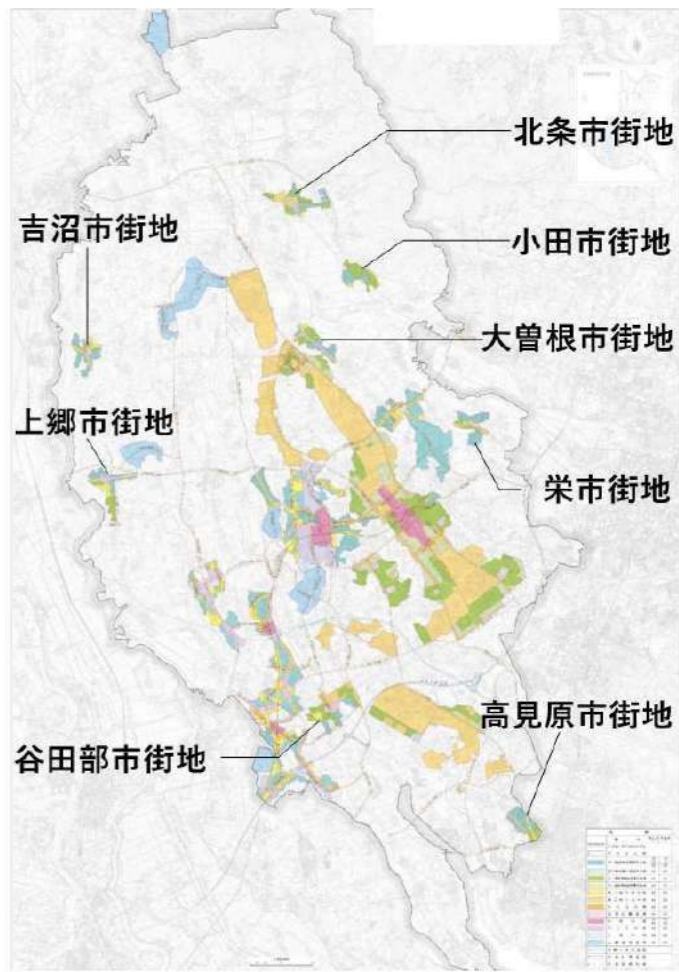
矢中の杜は、北条出身の実業
家矢中龍次郎氏が、昭和十三年
（1938年）から十五年の歳月
をかけて建設、平成二十三年（2
011年）に国登録有形文化財
になりました。南北に長い敷地
は約770坪。本館居住棟、別
館迎賓棟の2棟の建物と筑波石
などで作られた庭園が広がっ
ています。

邸宅内は、あざやかな日本画
が描かれた杉戸、美しい襦や建
具金物、オリジナルの照明器具
など、全国から集めた銘木や銘石など
、見どころ満載です。また、
当時の調度品も多数残されてい
て、昭和の暮らしが感じられ、
豪華でありながら懐かしいおじ
いちゃんのうち、という印象も
あるのです。

【邸宅公開】
毎週土曜日 11時～16時
第2.4日曜日 13時～16時
お一人様 500円
（中学生以下無料）
詳しくはこちら↓
<https://www.yanakanomori.org>

私たち、矢中の杜の守り人は、
長く使われていかなかった邸宅を、
清掃・整備し「矢中の杜」とし
て再生、現在は、定期的な邸宅
公開、イベント開催などの活用
をして、修繕や整備を実施、保
存を進めています。庭整備のチー
ム「庭倶楽部」も活動中です。（散
歩中に声をかけられたよ、とい
う方もいるかもしれませんね）
矢中の杜は北条の自慢の場所
のひとつです。ぜひ遊びに来て
ください！かつての矢中の杜の
思い出など、聞かせていただけ
ると嬉しいです。





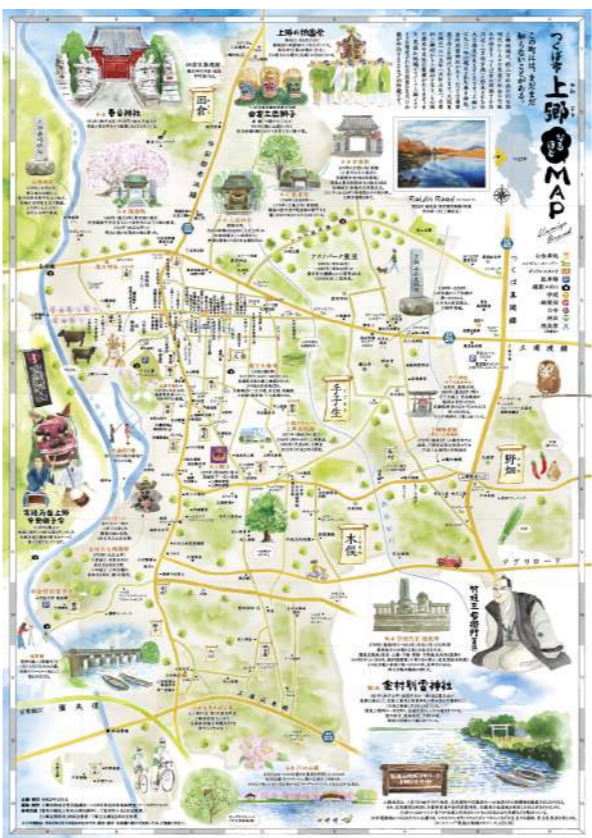
北条のみならず、こんにちはは！つくば市役所の周辺市街地振興室です。北条新聞の発行にあたり、私たちの取組について紹介させていただくことになりました。よろしくお願いたします！

周辺市街地とは

「周辺市街地」とは聞きなれない言葉と思いますが、つくば市が町村合併する前に、それぞれの町や村の身近な生活の拠点として栄えてきた8つの街「北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原」のことで、合併後は市の周辺部に位置しています。周辺市街地は、それぞれに歴史や自然などの素晴らしい魅力があるものの、合併後、行政としてそれらを活かした地域振興策には未着手であったことから、平成二十九年度に周辺市街地振興室が発足され、取組を行ってきました。

地域の想いかたちに

今回紹介させていただく取組は「周辺市街地活性化協議会（以下、協議会）」の組成と「周辺市街地活性化チャレンジ補助金（以下、チャレンジ補助金）」の創設です。協議会は、地域への熱い想いをお持ちの皆さまが参加するかたちで、令和三年一月現在で、八市街地のうち七市街地で発足しています（残る一市街地も発起人会で設立準備中）。チャレンジ補助金は



協議会で考えた地域振興のアイデア（想い）をかたちにするために、市街地毎に年間五十万円を上限に支給されるもので、これまでに様々な取組が生まれたので、今回は上郷・吉沼・栄について紹介します。北条でも、この北条新聞の発行をはじめとする取組で使いたいと思っています。

活用事例1

「上郷なるほどマップ」と「がんばる上郷かわら版」上郷市街地活性化協議会では、上郷には多くの魅力があるにもかかわらず、その魅力が知らない地域住民が多くなってきたことから、自分たちの街を再発見しようという想いのもと、令和元年度に「上郷なるほどマップ」を制作しました。令和二年度には、新型コロナウイルスの影響を受けた商店街を応援したいという想いのもと、テイクアウト可能な飲食店を中心に紹介する「がんばる上郷かわら版」を制作しました。どちらも協議会のメンバーがデザイナーとともに地域を巡り、試行錯誤しながら作成したもので、上郷地域の皆さまの熱い想いがこもった出



来栄えとなっています。

活用事例2

「食と酒の祭 in 吉沼」吉沼、元氣！協議会は「吉沼ブランドの創出と発信」を地域振興のテーマに掲げており、そのための第一歩として、令和二年二月に地元の名物を活用したイベント「食と酒の祭 in 吉沼」を開催しました。会場となった吉沼小学校には地元グルメが立並び、神輿渡御やお囃子、太鼓の演奏、よさこいソーランが会場を盛り上げました。また、地元飲食店と協力し、吉沼のグルメをお得に楽しめる「周遊チケット」を販売し、参加者が地域を周遊し、店舗を訪れるきっかけを作りました。



活用事例3

「地域交流の場・せくら交流館の開設」栄市街地活性化協議会では、「伝統を活かした交流」を地域振興のテーマに掲げており、その交流ができる場として、商店の一面を利用して「せくら交流館」を令和二年三月に開設しました。新型コロナウイルスの影響により大々的なイベントは控えながら、正月飾りをつくるワークショップを開催するなどして、伝統を活かしながら、多世代が交流するきっかけ作りを行っています。



市長からのコメント

北条の皆さん、こんにちは！4年前にはじめた周辺市街地振興の取組は、これまでに様々な地域振興の取組がはじまり、各地で希望が生まれています。中心市街地やつくばエクスプレス沿線地区の住民に周辺部の魅力を感じてもらい、遊びに行きたい、移住したいと思ってもらえるようにするため、これからも力を入れていきます。

北条は8つの周辺市街地のリーダーとして先頭に立って、地域が主体となった地域振興を進めてもらいたいと思っています。担当部署も引き続き、しっかり支援していきます！

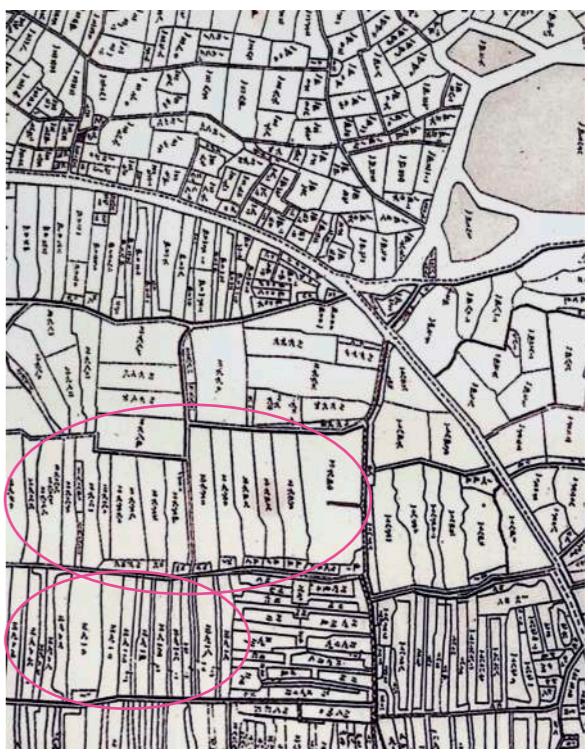


北条の地名の由来

このシリーズは郷土史家 井坂敦寛さんによる北条の歴史をたどるおはなしです。

それでは、北条のむかしばなしを、はじめることにしましょう。まずは、北条という

地名のおこりです。それは奈良時代、いまから千三百年前のことです。そのころ、条



北条地区条里遺構（昭和十六年地籍図より、宮本孝氏提供）北条大池付近、赤丸のあたり

ころ、条里制【じょりせい】というものが行われました。条里とは耕地の区画のことです。それまでは、一人一人が、男女の差はありましたが、等しく同じ広さの土地をもらったのでした。人々

は一生その土地をたがやし、死ねば土地は国に返納されました。

一四一七年の文書（応永十四年足利持氏寄進状）には

筑波北条 南条片穂庄

北条の条は、この条里制がもたらしたことは、まちがないところでしょう。全国各地に北条の地名があります。ということは、北条という地名はありふれたもので、ただたんに「北にある条里」ということです。したがって、北の条里があるからには、東条、南条、西条、そして中条があってもいいわけで、これらの地名も各地に残っており

と出てきます。先の「筑波北条」の北条が、独立した形をとって、北条郡といわれるようになったのです。ここで問題なのは宿郷です。「宿【しゆく】」というのは、街道の重要な地点にできた集落のことです。それゆえこの宿郷は、あるいは今の北条の地をいうのではないかとかんがえられるのですが、たしかな証拠はありません。「北条郡北条郷」と書く

と書かれています。先の「筑波北条」の北条が、独立した形をとって、北条郡といわれるようになったのです。ここで問題なのは宿郷です。「宿【しゆく】」というのは、街道の重要な地点にできた集落のことです。それゆえこの宿郷は、あるいは今の北条の地をいうのではないかとかんがえられるのですが、たしかな証拠はありません。「北条郡北条郷」と書く



稲野神社（現飯名神社）鰐口

すの一四七九年（文

北条八坂神社

と記されており

と記されており、天文六年は一五三七年にあたります。この時北条に住んでいた聖道慶【ひじりどうけい】という人が、この経筒を奉納したのでした。



北条八坂神社

この五輪塔は、もと八坂神社下にあった吉祥院のもの

【べつとつじ】でした。明治の廃仏毀釈【はいぶつきしゃく】の際に、寺がなくなると、五輪塔は神社わきに移されたのです。

では、北条が北条になったのはいつからなのか、と問われても困ります。歴史というのはわからぬことばかりです。条理の行われた土地が、ある時から桜川を境として南北に区分され、そのうちの北の部分がいつのころから北条郡

いえません。記録された文書が残っていないかぎり、歴史はなにもわからないのです。北条の地は古くから栄えたところでした。これからは、かしばなしを続けていくことにいたしますこととしましょう。